

Carbon Footprint Report

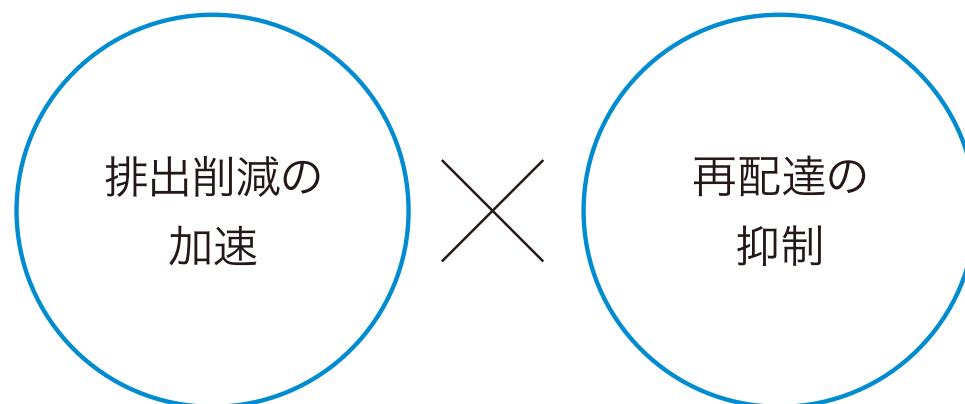
宅配便におけるカーボンフットプリント算定報告書

2025年1月

1.CFP(カーボンフットプリント)の算定目的

当社グループは脱炭素ビジョンを掲げ、2030年度までに燃料使用に伴うScope1および電力使用に伴うScope2の総排出量を、**2013年度比46%削減、2050年度にカーボンニュートラル**を目指して取り組みを進めています。

上記目標のもと、当社サービスのライフサイクルにおける**GHG(温室効果ガス)排出量の削減**を目的に、また**再配達の抑制**といったお客さまに「**エコな選択肢**」を提供する**第一歩**として、最も利用が多いサービスの一つである「**飛脚宅配便**」を用いて、当該製品のCFP定量化や可視化に取り組みます。

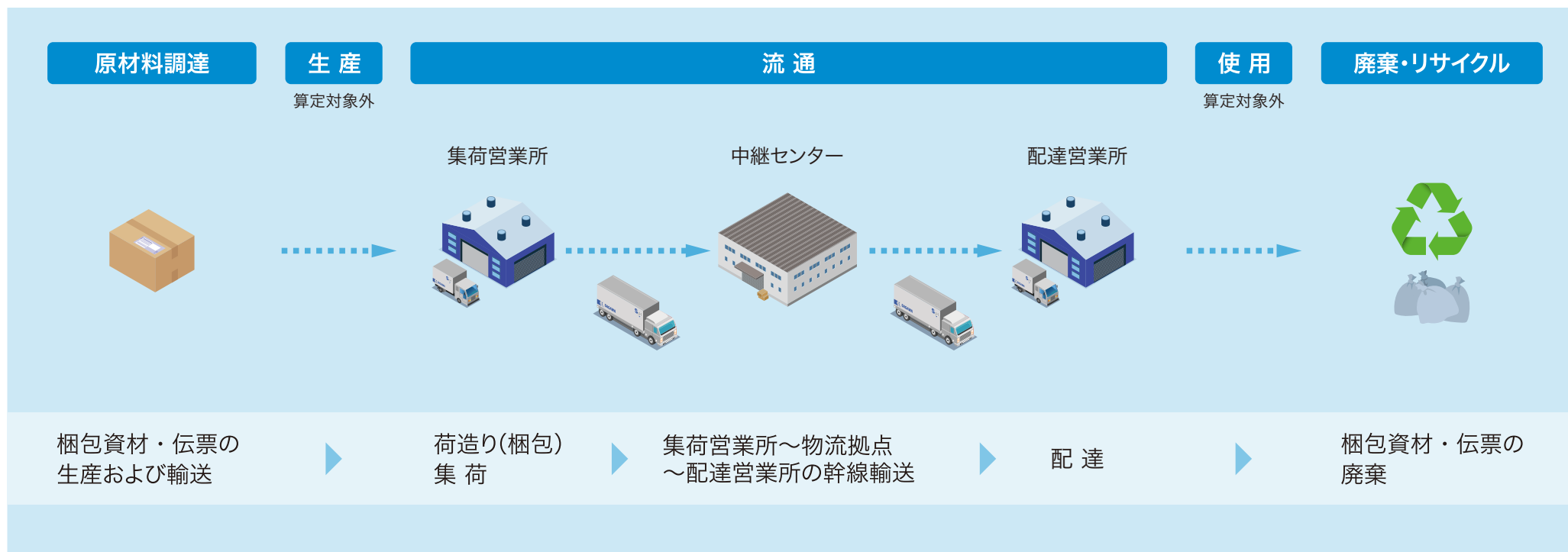


2. 算定対象

対象サービス 飛脚宅配便(3辺合計160cm以内・重量30kg以内のお荷物) ※平均重量で算出

算定単位 1個当たり

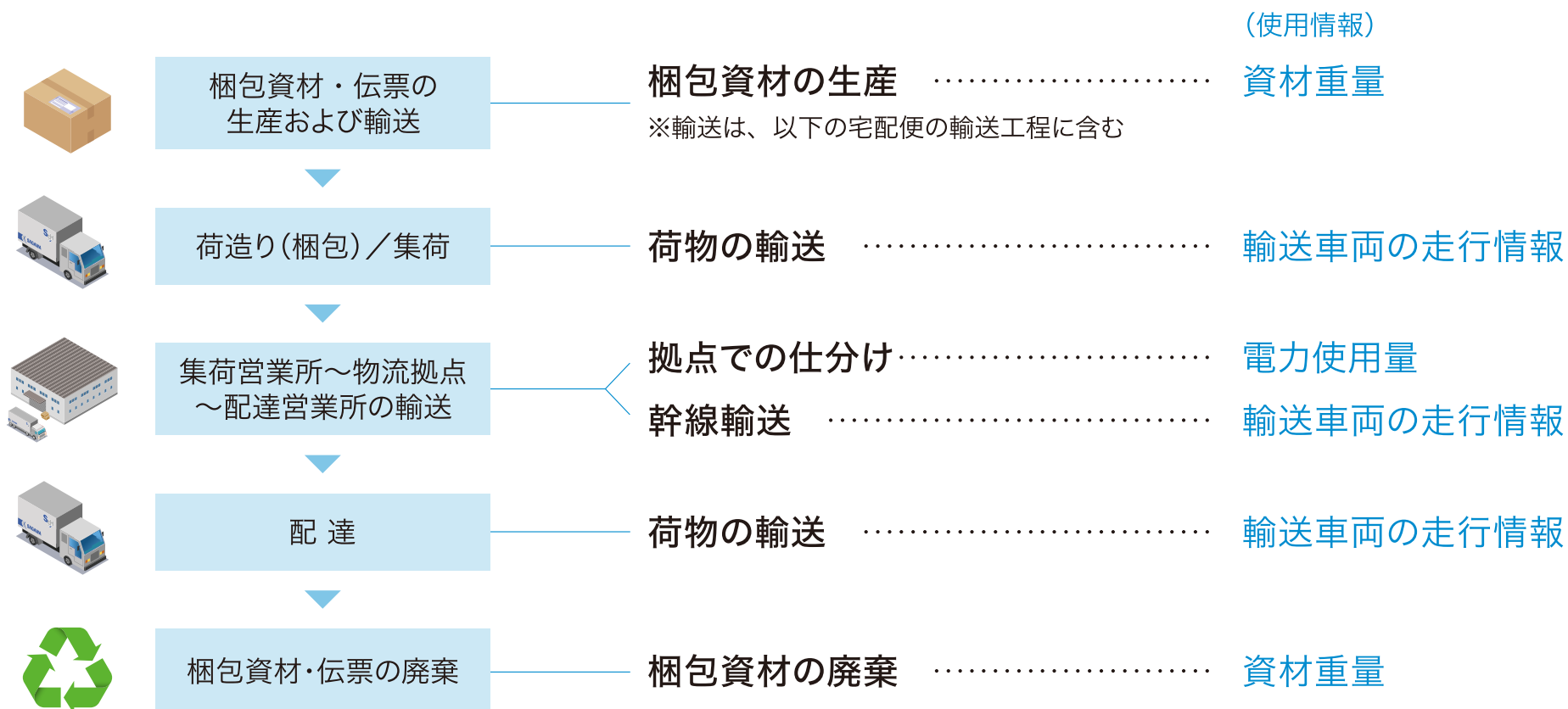
対象とするライフサイクルステージと構成要素



※佐川急便の最も頻度が多く代表的な輸送ルートを採用し、平均的な距離、重量を算出した上で、CFPを計算しています。

3. 使用したデータに関する情報

活動量データは一次データ(実測値、実測値の配分)の収集を基本とし、一次データが困難な場合には、二次データやシナリオを活用しました。



4. 使用したデータベース・参照規格／カットオフの対象

◆ 使用したデータベース：

- ・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 AIST-IDEA Ver.3.3
- ・ 環境省排出原単位データベース v3.4
- ・ 環境省・経済産業省公表 「電気事業別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－R4 年度実績－ R5.12.12」

◆ 参照規格：

- ・ カーボンフットプリントガイドライン／ISO14067：2018（関連規程含む）を参照

◆ CFP算定対象とした期間：

- ・ 2023 年度のデータを基本として算定（一部データは前後するものもある）

◆ カットオフの対象：

- ・ なし



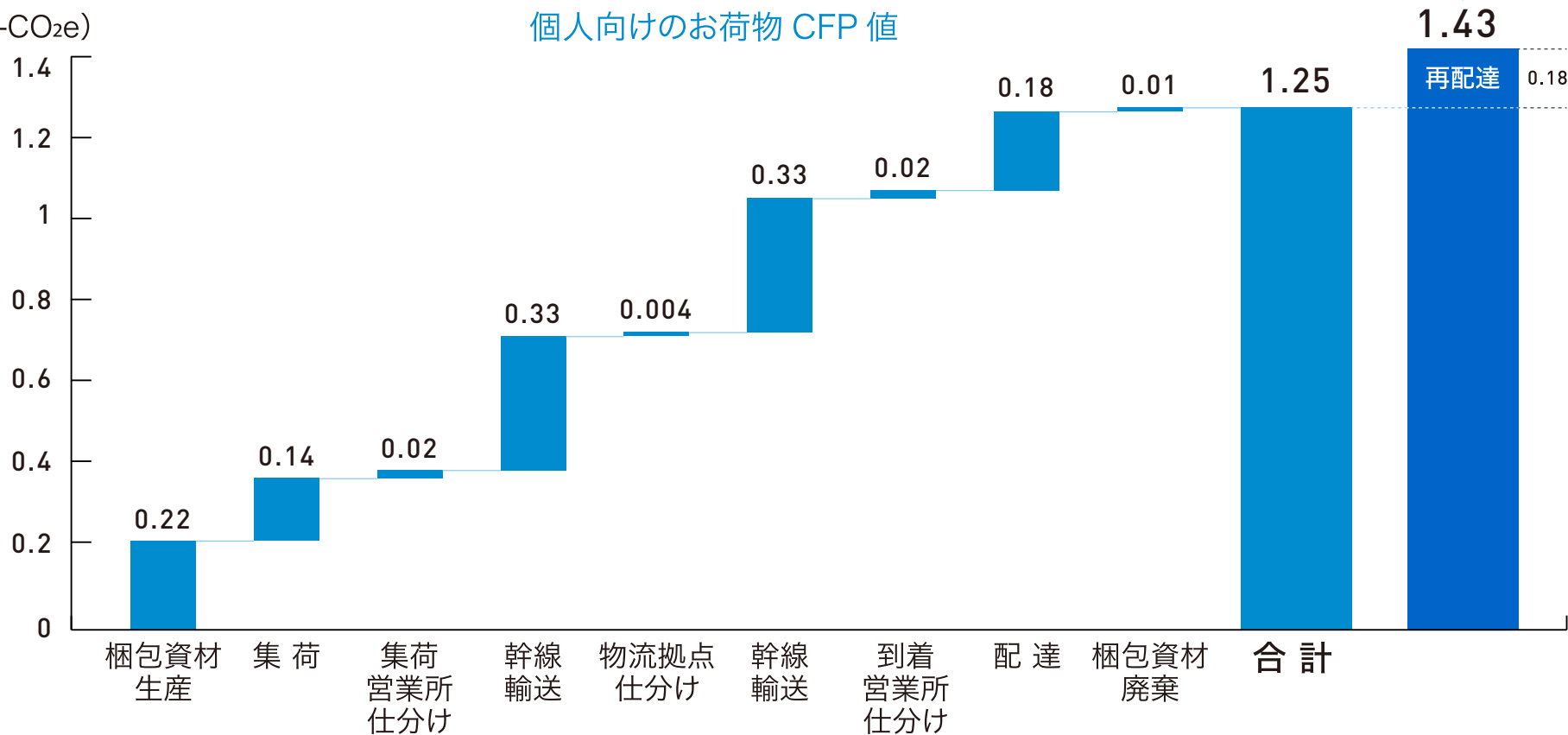
5. 算定結果(個人向けお荷物)

飛脚宅配便1個当たりのCFPは、**個人向けのお荷物 1.25kg-CO₂e**です。

個人向け CFP 詳細

再配達(1回)のGHG排出量

(単位 :kg-CO₂e)



6. 解釈の結果

算定における課題・不確実性

実測値が確認できない工程は、シナリオを使用しており実際の状況を反映していない部分があります。

- ・ 消費者の出す廃棄物（梱包資材）の輸送・廃棄物処理

輸送ルート、距離、荷物重量、使用する車両はさまざまであるが、それらすべての情報を用いて算出することは困難なため、代表となる工程や平均情報を用いて算出しています。

7. 将来の方向性

再配達抑制に向けた取り組みの推進

今回のCFP算定結果を踏まえて、社会問題の一つである再配達に係る排出量や与える影響を可視化し、消費者と一体となった再配達抑制に向けた取り組みを検討、実行していきます。

また、環境負荷の大きい工程に着目して排出削減に取り組んでいきます。

CFP 算定の正確性の向上

シナリオを設定した工程などは、今後実測値の取得ができるよう継続的にCFPの算定手法を見直すことで、削減効果を反映した算定や、実態に則した算定を目指し、結果の正確性をさらに高めていきます。